

湊地区 復興事業説明会 議事録（摘録）

日 時：2011/12/7 14：00～15：30

対 象 町 名：八幡町一丁目、二丁目

総参加者数：141名（参加地権者数：126名／158名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（40分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換（50分程度）

- ・堤防の測量範囲が100mということだが、堤防は川からどの程度の範囲で作られるのか。  
⇒堤防の高さで敷幅が変わってきます。海岸堤防7.2mから石巻大橋4.1mの高さにすりつけるよう、設計していく予定ですが、現時点では高さが決まっていないため具体的な幅は言えません。（下流）
- ・大雑把な数値でもいいので高さ何mの堤防を作ることも決まっていないのか。堤防からあまり離れていないため移転しなければならないと思っているが、範囲がわからないと動きようがない。今決まっていないということで良いか。  
⇒はい。3月末まで待っていただくしかありません。3月末には高さや敷幅がわかるので、決まった場所から順次図面を出します。今現在は検討中です。（下流）
- ・また、先日の報道で堤防用地の買収額は時価（実勢価格の6～8割）で買うということだが、実際はどの程度の金額になるのか。  
⇒被災前価格での買い取りを国に要望しております。結果が分かり次第、皆様にお知らせします。
- ・八幡町一丁目は河川に面しており、堤防一つで安全と言われても納得がいかない。今回の震災の教訓が生かされていないのではないかと。仙台市の東部道路は大きな役割を果たしたが、岩手県の堤防は役割を果たさなかった。今回の堤防はどの程度の堤防を考えているのか。  
海を強固にすれば津波は川を上っていく。数メートルの堤防で守れるのか。高さや幅についての質問は当たり前。現在の道路の幅ぐらゐ敷幅と考えているのか。明確に答えてほしい。  
⇒中央防災会議において定められた方針に基づいて検討を行っています。整備する堤

防は今回の津波に対するものではなく、十数年～百十数年に一度の津波を対象としています。この地区では明治三陸地震の津波です。この場合だと 3.4m となります。この地区の場合、高潮の波の方が津波より高いため、海岸堤防の高さは 7.2m となりました。敷幅がわからないと今動こうとしている人に迷惑をかけているのはわかりますが、具体的な数字は今の段階では申し上げられません。一般的なイメージでは 1:3 の構造で作ります（底幅 3m で 1m 上がる）。現在の道路は 5m 程度のため、現在の道路幅では足りない可能性が高いというぐらいしか言えません。3 月末まで設計を固めてははっきりとさせていきたいと考えています。（下流）

- ・市に答えていただきたい。八幡町は安全か。  
⇒今次津波を前提として計画しています。大学教授にも入っていただき、シミュレーションをかけ、津波の遡上高を算出し、その結果に基づいて河川堤防の高さを設定します。
- ・今回の津波の実態をみると、違うと思う。波は川側から来ている。  
⇒新たに整備される施設を条件として、シミュレーションを実施しています。
- ・今までの教訓が生かされていないのではないか。他県であれだけの被害を生じているにもかかわらず、ハードで守ろうというのはおかしい。  
⇒石巻市はこれまで、無堤の区間があるなどハードが貧弱でした。まずはハード面の課題解消を目指しています。また、併せて防災教育や防災設備の充実を図り、ソフト的な防災対策も実施します。
- ・3.4m で間に合うという話があったが、実際の津波は 5m 程度来ている。「シミュレーションだから」「大学教授だから」ではなく、実際に津波を体験した住民の話も聞いてほしい。  
⇒3.4m とは、私は言っていません。漁港の内港の高さでしょうか？河川堤防の高さは決まっています。
- ・橋の上に民家が乗った。船も乗った。工法上で何mの高さが必要ということがわかるのであれば、法面が何mというのも分かるはずだ。そういった報告できるような資料を作ってほしかった。
- ・堤防を造ったあと、川べりの道路も造るのか。  
⇒国土交通省と協議を行い、幅が決まった後、皆様にご報告します。
- ・川岸の道路はそのままか。  
⇒新しい堤防ができれば、側道が必要になります。
- ・仮に、ということで答えてほしい。八幡町 2 丁目に 5m の堤防を造るのであれば、幅はどのくらいになるか。

⇒あくまで一般的な考え方ですが、1:3の勾配で考えれば堤防だけで30~40mは必要です。ただし、構造等によって変わります。

- ・国道398号線はどのくらいかさ上げするか。また、拡幅はどの程度か。  
⇒将来、20mの幅員になるので、7~8m程度広げることになります。高さは、現地盤へすりつけることができる程度の高さを想定しています。
- ・398号線にかかった家について、今から解体しようとしたとき、住宅があった場合と解体した場合とどちらが良いか。  
⇒建物については現場を見なければわかりません。ただし、どちらも同じではないでしょうか。補償金も出ることは出ますが、撤去費用くらいにしかありません。また、建物の有無で土地の評価が変わるようなことはありません。
- ・基盤整備課に以前お邪魔した時、八幡町あたりも高盛土道路だったような……。無くなったのか。  
⇒高盛土道路は、海側にあります。
- ・内海橋を対岸から延長してもらえば高盛土道路になるので、検討してほしい。図を見ると牧山へ立派な道路が延びているが、そこまで歩けない人も多い。  
⇒防災教育や避難所を組み合わせで検討します。
- ・内海橋は何車線になるか。また、国道と石巻大橋は何車線になるか。  
⇒内海橋は協議中です。国道は20mで2車線。石巻大橋は4車線で整備したいと要望しています。
- ・道路の補償金と堤防の補償金では額が異なると聞いた。  
⇒同一基準・同一単価で補償を行うものと取り決めていきます。
- ・堤防道路にかからない場合でも、市は買ってくれるのか。  
⇒申し訳ありませんがお応えできません。
- ・平成24年3月に設計が終わるのであれば、その時点で説明会があるのか。  
⇒設計が決まれば、皆様へご説明させていただきます。(下流)
- ・3月以降か。  
⇒はい。(下流)
- ・1丁目には基礎が残っているところも多い。整地は市で行うのか。  
⇒河川堤防の幅や内海橋の構造、398号線との接続を検討し、皆様にご覧いただきます。その結果、区画整理を実施した方が良いのであれば、コンサルも入れてまちづくり

を検討したいと考えております。

- ・リフォームするか否かで悩んでいる。以前の告知では、この会はもっと前に開催されるはずだった。9月と言っていたのに10月、11月……。その間リフォームせずにとずっと待っていた。堤防にかかった場合、リフォームした家としない家で補償額は変わるのか。現場を見る必要があるであれば、明日にでも見てもらおうと思っている。  
⇒補償を行う時点の建物状況を見て、補償額が決まります。リフォーム効果は見る事ができると思いますが、全額かどうかはわかりません。(下流)
- ・床板も張っていない。気温が5度以上に上がらない。そんな中で家事をしていて、本当につらい。やらないよりはやったほうが良いのか。  
⇒時間も過ぎているので、残ってお話を伺うということによろしいでしょうか。

以上